

# 碁老連ニュース

第118号

1

## 碁老連の目的

老人囲碁同好会の誰もが、活きいきと生命力を維持し“碁を楽しむ”ことができるよう、機会と場所を確保するために相協力し、囲碁を通じて親睦を図り、更には、より良き福祉社会に貢献することを念願する。

発行日	平成12年4月15日
発行所	八王子の碁を楽しむ老人連合
〒192-0154	八王子市恩方町1168-2
TEL	(0426)51-6753
発行人	高橋 實
編集者	小池 英一

## 『平成十二年度業務開始の御挨拶』

八王子碁老連 会長 高橋 實

八王子碁老連も新体制に移って二年目。既に役員総会で年次計画も確定し、此処に新会長に挙げられ、前年の副会長職に引き続き、どうやら十二年度の業務を始動出来ました。個人的には困惑を感じておりますが、新計画は肅々と進めなければなりません。

その第一は、行事活動と共に会計の、暦年度から年度制への移行の定着。第二は、新名称の活きいき囲碁大会を始め、各大会・諸対戦の成功。第三に、論議外に会員増の努力対策があり、その他に、研修会への入会希望が多く、過去に縛られない対策も求められています。運営室人事の推進の要望もありました。

新体制を此処まで軌道に乗せられた、前年の会長の御苦勞を多とし、創始者熊崎会長以後の惰性だけは戒めながら、碁老連設立の目的を体して、少しでも会の隆盛と、問題の解決に向えばと念願しております。此処に八王子市当局、日本棋院には、変わり無い御高配をお願いし、技術顧問各位の御指導と、特別任務担当の方々の御支援。そして、市内全地区寿囲碁同好会と全会員には挙げての御協力をお願いして、就任と年次業務開始の御挨拶と致します。

なお、本部は次の副会長と共に担当して参ります。

小西 徹 (長房)	総括、ニュース担当
山下 則文 (元八)	大会担当
真田 誠次 (浅川)	会計担当
新保 礼次 (北野)	運営室長

## 第10回 活きいき囲碁元八大会のご案内

2

- 日 時 平成12年5月14日(日)午前9時  
 会 場 元八市民センター(上巻分方町747-1、☎51-3960)  
 主 催 元八寿囲碁同好会(会長清水 勇、元八王子町1-242-87、☎63-2896)  
 共 催 八王子の碁を楽しむ老人連合(碁老連)  
 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院  
 参加資格 八王子 に在住している60才以上の囲碁愛好者(10級以上7段まで)  
 参加費 700円(弁当代を含む)  
 競技方法 5クラス別に行い各クラス共3位までの入賞者に賞状を授与する。  
 特 典 成績により11月26日の八王子大会に推薦する。  
 注意事項 自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。

## 第10回 活きいき囲碁恩方大会のご案内

- 日 時 平成12年5月28日(日)午前9時  
 会 場 恩方市民センター(西寺方町260-4、☎52-3333)  
 主 催 恩方寿囲碁同好会(会長、山崎 稔、☎51-1212)  
 共 催 八王子の碁を楽しむ老人連合(碁老連)  
 後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院  
 参加資格 八王子 に在住している60才以上の囲碁愛好者(10級以上7段まで)  
 参加費 700円(弁当代を含む)  
 競技方法 5クラス別に行い各クラス共3位までの入賞者に賞状を授与する。  
 特 典 成績により11月26日の八王子大会に推薦する。  
 注意事項 自家用車でのご参加はなるべくご遠慮ください。

## 寿囲碁同好会会長の交代のお知らせ

- 元八寿囲碁同好会 会長 山下 則文氏に代わって、清水 勇氏が就任されました。  
 中野寿囲碁同好会 会長 阪本 勝氏に代わって、布施 馨氏が就任されました。  
 恩方寿囲碁同好会 会長 高橋 實氏に代わって、山崎 稔氏が就任されました。

## 会計報告

3

前回の碁老連ニュース（第117号）で、お知らせいたしました会計報告（期間平成11年3月9日～12年1月31日）について、その後の平成12年2月1日から同年3月31日までの収支を次のように報告いたします。

### 会計収支報告（平成12. 2. 1. ～3. 31）

収入の部			支出の部		
項目	金額（単位円）	備考	項目	金額（単位円）	備考
平成12.1.31. 現在の残高	190,351		事務費	12,758	
地区会費	37,700		繰越金	215,293	
計	228,051		計	228,051	

### 碁老連の目的の一部変更

ニュース冒頭の碁老連の目的欄の文章の前半を、次のように変更することにいたしましたので、ご了承下さい。

『老人囲碁同好会の誰もが、活きいきと生命力を維持し、“碁を楽しむ”ことができるよう、』

### 各同好会会長へのお願い

- (イ) 活きいき大会への参加者名簿を、各同好会より大会担当の碁老連副会長山下則文あてに、開催日の15日前までに通知されますよう、お願いいたします。
- (ロ) 団体対抗戦の結果は、主催同好会よりニュース担当副会長小西徹あてに報告されますよう、お願いいたします。

3月18日

4

## 碁老連研修会 囲碁大会成績表

## Aクラス(3段以上)

優勝	小櫃 久幸3段				
準優勝	中島 義彦3段				
3位	佐藤 要吉6段				
(4位)	清水 一郎4段				
予選	3勝 中島 義彦3段	小櫃 久幸3段			
	2勝 佐藤 要吉6段	清水 一郎4段		(抽選により決勝戦に出場)	
	" 石橋 久須男3段	石川 義秋4段	新保 礼次5段	山崎 稔3段	
	" 佐宗 源次5段				
	1勝 香山 勲3段	相川 彰3段	市川 隆一5段	嶋田 高明4段	
	" 大河原 静4段	藤岡 光四郎4段	小笠原 正顯4段		
	0勝 関戸 一郎3段	橋場 政明3段			

## Bクラス(初段2段)

優勝	藤森 立喜2段				
準優勝	小池 英一2段				
3位	後藤 徳夫初段				
(4位)	二見 義雄初段				
予選	3勝 二見 義雄初段	藤森 立喜2段			
	2勝 小池 英一2段	後藤 徳夫初段		(抽選により決勝戦に出場)	
	" 宇井 久初段	吉田 友二2段			
	1勝 内山 藤雄初段	梁川 正雄初段	堀口 哲初段	中野 貞男初段	
	" 当間 一郎初段	小勝 政男2段	橋本 一2段		
	0勝 高橋 重二2段				

## Dクラス(1級~3級)

優勝	伊藤 茂雄1級				
準優勝	石丸 盛邦1級				
3位	小峰 貞雄1級				
(4位)	清水 明一2級				
予選	3勝 小峰 貞雄1級	石丸 盛邦1級	伊藤 茂雄1級		
	2勝 清水 明一2級		(抽選により決勝戦に出場)		
	" 鈴木 昭二2級	石田 光男2級	水野 常昭1級	岸本 哲2級	
	" 柳 保治1級	谷津 義一2級	松下 和三郎3級		
	1勝 関口 信二3級	横山 治安3級	武発 悦子3級	深沢 辰男1級	
	" 佐藤 富雄3級	佐藤 正男3級	立石 達1級	三浦 秀夫1級	
	0勝 野口 勝久3級	植松 森一1級	渡辺 清3級		

## Eクラス(4級~8級)

優勝	岡田	年弘	6級				
準優勝	山中	茂	4級				
3位	伊藤	保江	5級				
(4位)	相川	真佐子	8級				
予選	3勝	山中	茂	4級	岡田	年弘	6級
	2勝	相川	真佐子	8級	伊藤	保江	5級
	"	大貫	三好	7級	高瀬	八重	4級
	1勝	飯山	明宏	5級	村井	満雄	7級
	0勝	植村	米子	7級	馬場	弘子	7級
					八木下	仙吉	4級
					串田	康治	5級

3月18日

## 南大沢研修会囲碁大会成績表

## Dクラス(1級~4級)

優勝	菅野	哲雄	1級				
準優勝	大島	哲	3級				
3位	石坂	敏夫	2級				
(4位)	山之口	寛	4級				
予選	3勝	菅野	哲雄	1級	大島	哲	3級
	2勝	石坂	敏夫	2級	山之口	寛	4級
	"	川和	誉富	3級	小林	雄平	4級
	1勝	島田	正信	2級	松本	清時	1級
	"	山根	岩男	1級	坪内	和雄	1級
	0勝	飯田	吉二	4級	国頭	穰	2級

## Eクラス(5級~8級)

優勝	澤田	弘志	5級				
準優勝	鳥井	義一	5級				
3位	大野	トモ子	6級				
(4位)	戸倉	紅二	6級				
予選	3勝	澤田	弘志	5級			
	2勝	鳥井	義一	5級	戸倉	紅二	6級
	1勝	大澤	健悟	6級	加藤	雅康	6級
					大野	トモ子	6級
					澤井	弘子	8級

## 『囲碁と私』

6

副会長 小西 徹

(長房寿囲碁同好会所属)

私と囲碁との出会いは、旧制高校3年の夏、兄から手ほどきを受けた時に始まります。

大学に入ってから、製図室が専ら碁を楽しむ場所となり、講義には単位をとるのに必要な最小限しか出なかったように記憶しています。

学校を卒業した年の12月には陸軍の技術候補生として入隊し、それから大東亜戦争が終るまでの約5年半は陸軍の将校として勤務していたので、囲碁を楽しむ機会はほんの僅かしかありませんでした。当時の棋力は、2級ぐらいだったと思います。

昭和21年夏から北九州市の化学工場に勤務することとなり、それから東京の本社に転勤するまでの14年間は、私が囲碁を一番勉強した時代でした。地方棋士の村田先生に毎月一回教えていただいた上に、毎年2回故郷大分に帰省される加田克司先生(木谷門下、後に9段に昇進され、今から数年前に亡くなられた)に教えていただきました。

東京に転勤してからも、時々加田先生に教えていただく機会があり、先生の推薦で、昭和47年に6段の免状をいただきました。

又北九州在住のまだ2段の頃、木谷実先生に稽古碁を打つていただいた事は生涯忘れ得ぬ思い出となりました。

平成2年、熊崎前会長の勧めで碁老連の長房寿囲碁同好会に入り、それ以来一段と楽しく囲碁を続けておりますが、これも碁老連の皆様のお陰と深く感謝しております。

ちなみに私は十数年前から、日本郵便碁愛好会に入会し、郵便碁を通じて各地の囲碁愛好者と対局しております。郵便碁は棋譜が残る上に、納得の行くまで次の手の検討が出来ますので、大変勉強になります。ただし一局終了するのに一年半位かかりますので、何とも気の長い話になりますが、葉書に着手を書いて往復しますので、一人の方と最大8局位の同時進行が可能ですし、毎日郵便の届くのが楽しみです。お暇のある方には御加入を、お勧めいたします。